

坂の上通信

令和五年六月一六日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

通学マナーに疑問の声

「美高生の通学状況調査」集計結果

毎年恒例の新聞部による文化祭企画、全校アンケートを今年度も行った。今年度のテーマは美高生の通学状況について、結果を入学したその1年生と2・3年生に分けて集計することで、意識や実態の差が明らかになった。

我が美鈴が丘高校は、佐伯区美鈴が丘団地にある。高台を上っていくので、バスの本数も少なく、通学路として使える道も限られている。交通の便があまり良くないからか、佐伯区内や西区など、比較的学校の近い場所から通学している生徒が多い。そのため、通学手段として多いのは、自転車だ。生徒たちは長い坂道を登るための電動アシスト自転車に乗っ

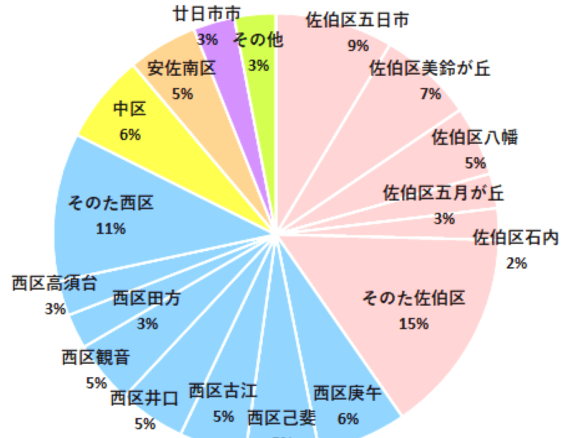
て、毎日元気に登下校している。その反面、自転車事故が発生しており、自損事故だけでなく他者との接触事故も、たびたび報告されている。

そこで、我々新聞文芸部は、美高生の通学状況を調べ、普段からどんなことを意識して通学しているか、また、自転車通学と公共交通機関を使って通学している生徒との意識や関心の差などを調べたり、

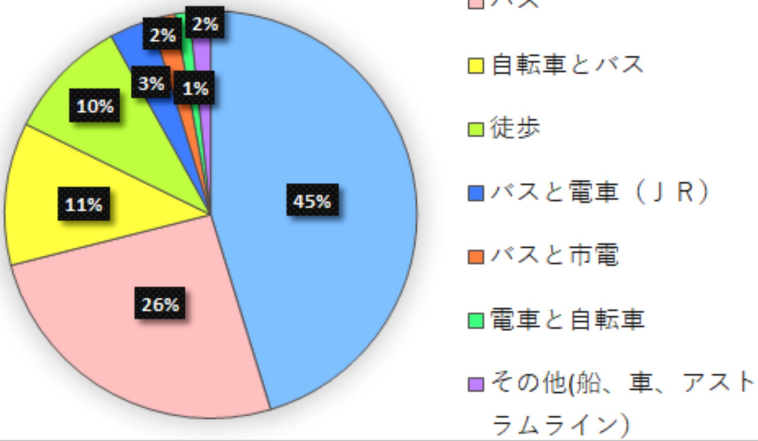
まだ登下校になれてない1年生と、2・3年生に分けて集計したりすることで、その実態を明らかにしようと試みた。

全校アンケートを実施したのは、5月12日金曜日。各担任の先生方の協力を仰ぎ、1年生はアンケート用紙に

美高生の居住地



美高生の交通手段



ダメだとわかると...

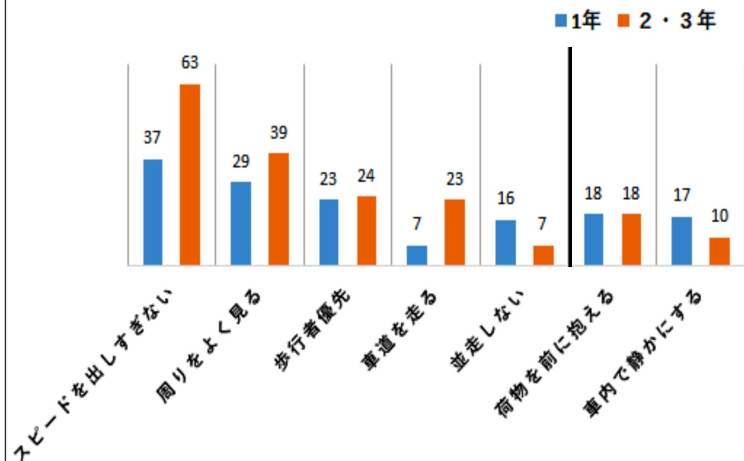
記入、2・3年生はタブレットを使ってグループフォームに回答してもらった。その結果、1年生は37人だったのにも関わらず2・3年生は63人と大幅に増加していることから、通学に慣れてくる、坂道が多いなど通学路に危険が潜んでいることがわかり、スピードに意識が向くようになっていくことがわかった。一方、1年生と2・3年生で大きく差が開いたのは、「車道を走る」と答えた生徒だ。1年生は7人に対し、2・3年生は23人である。自転車であついで歩道を走ってしまうが、自転車も車道であるため、車道を走ることが基本という情報を、1年生の中には知っていない生徒が多かったり、通学路に慣れていない事への不安から、安全な歩道を走ってしまったりすることが考えられる。

バスや電車などの公共交通機関を使って通学している生徒からは、「車内で静かにする」や「荷物を前に抱える」という回答が多く寄せられた。混雑している車内では、乗り降りする乗客の邪魔にならないよう、リュックなど

の荷物は前に抱えて乗車することがJRなどの車内広告で推奨されている。また、座席に座っているときも、より多くの人が座れるよう、やはり荷物を前に抱えて座るべきであろう。

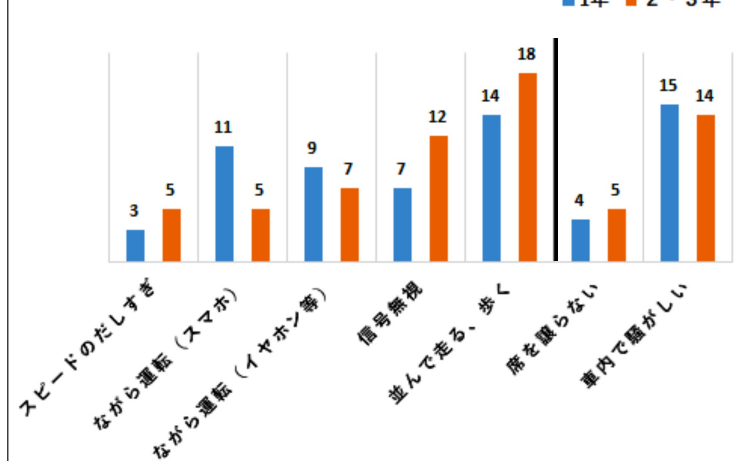
この質問と、「見かけたことがある悪い運転・乗車マナー」の質問を比べてみる。そもそも、これらを見たことがあると答えた生徒は、全体で、46人中19人と、約42%であり、半分に満たない。自転車通学の生徒は、「並んで歩いている人や、自転車と並走している人」を見たことがあると回答した人が最も多いのに対し、周りの人への配慮として意識していることの問題では最も回答が少ない。また、公共交通機関を利用している生徒は「車内で騒がしい人」を見たことがあると回答した人が最も多いが、配慮として挙げている生徒は少ない。このことから、普段自分たちが最も気になるマナーに対する意識が、最も低いことがわかる。いけないことなどはわかっていても、それが自分の行動に生かされていないことを自覚するべきであろう。一方で、スマー

通学時にしている周りの人への配慮



トフォンやイヤホンを見ながらの運転が悪いと認識していたり、座席を譲ったり、荷物が邪魔にならないよう意識してマナーを守った行動ができていない部分もある。今一度自分の行動を見直して、よりよい通学マナーを心がけたい。(佐々木大翔)

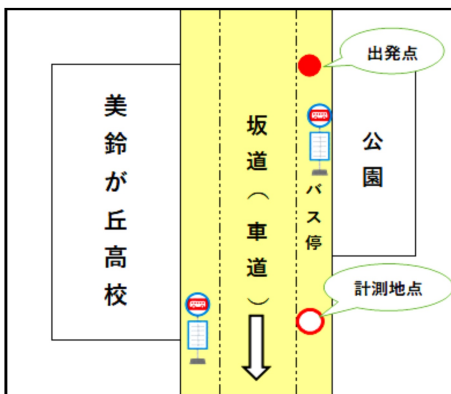
見かけた悪い運転・乗車マナー



猛スピードで駆け下りる自転車

最速で0.87秒

美鈴が丘高校の近くには、小学校と中学校もあるため、周辺は人通りが多いのだが、美鈴の向いにある公園と挟むようにしている急な下り坂では、美鈴が勢いよく歩道を自転車で下っている光景をよく目にする。そこで、我々はその自転車の速度を計測することにしました。



美高の周辺地図と計測位置の図

6月上旬の晴れた日の放課後、美鈴生を対象に下校ラッシュ時をねらって、二日間計測した。まず、30メートルをはかり、出発点では赤い旗をもって待機し、計測地点ではストップウォッチを握って構える。出発点を自転車を通ったら赤い旗を揚げ、それを合図にストップウォッチで計測する、という方法だ。30メートルに設定したのは、障害物のあるまっすぐではない坂道で、50メートルはかると、肉眼では赤い旗が見えにくかったためである。なお、下校ラッシュ時である

ため、美高前のバス停にはちらほらと生徒がいる状態だ。計測した結果、平均は87秒となつた。この速度を私たちの身近な50メートル走に置き換えてみると、約8.1秒という計算になる。令和4年度の15〜17歳の50メートル走の平均は、男子が約7.4秒、女子が約8.9秒である。(文部科学省スポーツ庁データより)そのため、私たちが全力で50メートル走る速度に近い速度であることがわかる。そうするとあまり早いスピードだと感じないかも知れないが、全力で走っているときに急に子供が横から飛び出してきたら、ぶつからずに止まることができらるだろうか。そう考

えると、決して遅くはないスピードである。また、最も早くして87秒を出している生徒もいる一方で、バス停に生徒が多くいて歩道が狭まっているときには、6〜7秒と、駆け足程度の速さで下っている生徒もおり、歩行者がいてもよけることが可能であり、相手も自分も怪我をしにくいスピードなのではないかと推測できる。下り坂でスピードが出てしまうのは仕方ないが、最低限いつでも止まれる位のスピードで走らなければならない。(樫元萌奈)

	速さ(秒)
1(人目)	5.4
2	5.8
3	5.6
4	4.24
5	6.46
6	6.34
7	4.8
8	4.06
9	5.6
10	2.74
11	3.58
12	3.37
13	4.19
14	5.63
15	4.56
16	7.7
17	7.16
18	3.3
19	0.87
20	6.11

計測結果一覧(右)と、計測している様子。(下)



自転車だけがライダーのハッピーマン

「自転車に乗って怪我をしたことがあるか」という質問に対し、「ある」と答えたのは155人、「ない」と答えたのは158人と、二人に一人の割合で怪我をしたことがあるとわかった。

多く挙げられたシチュエーションとしては、「雨や雪で転倒」が47人と最多で、「段差でバランスを崩し転倒」が20人、次いで、「坂道での転倒」が13人と多い結果になった。坂道が多く、雪の積もることが多い美鈴が丘地区ならではの問題が多くあげられた印象だ。

また、車や歩行者、自転車同士の接触といった、一歩間違えると自分だけでなく相手も大きな怪我をしかねない事故にあったことがある生徒もいた。さらに、2人乗りや前方不注意などの、運転している自分の不注意で負った怪我もあり、自転車も「車両」である、という意識を常に持って、安全運転を心がけなければならないと再確認できる結果となった。(樫元萌奈)

ヘルメット着用 わずか5人

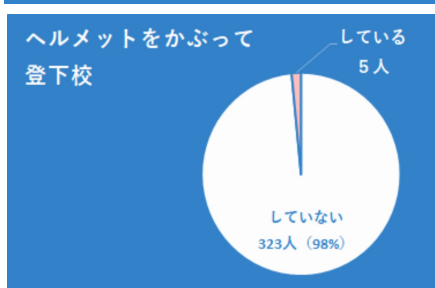
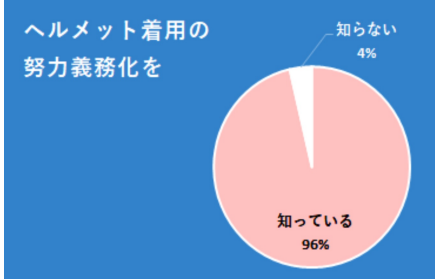
道路交通法の改正により、令和5年4月1日から、自転車運転時のヘルメット着用が努力義務化した。

アンケートの結果、ヘルメット着用の努力義務化について知っていたのは自転車通学者区ならでは問題が多くあげられた印象だ。

328人中317人と、約96%の生徒が認識していることがわかった。しかし、実際にヘルメットをかぶって登校しているのはわずか5人であり、ヘルメット着用の定着度はかなり低いことがうかがえる。実際に、町で自転車に乗っている人を見かけてもヘルメットを着用している人はまれである。

「かぶらなければならぬ」という義務ではない、「努める」という本人の努力にゆだねているのだ。ではわざわざ法律として定める必要が低いように感じるが、実際に自転車運転中の事故で死亡した例では、約7割が頭部を負った損傷が致命傷となつているようだ。(警視庁HP)多くの人の命を守るための注意喚起として、法律が改正されたことにはきちんと意味があることがわかる。(樫元萌奈)

「自分も加害者にも被害者にもなる可能性がある」と語った。この講習会は、毎年自転車通学を始めたばかりの1年生に向けて開かれる。自転車を運転する際の正しい知識を身につけたい。(三戸夏弥)



新聞文芸部 美高生の通学状況アンケート調査

- どこに住んでいますか(区と町名を教えてください)
- 交通手段に○をしてください(その他を選んだ人は、交通手段を教えてください)(複数回答可)
バス 電車(JR) 市電 自転車 徒歩 その他()
- 登下校時に周りの人への配慮として、心がけていることはありますか。
- 交通マナーや乗車マナーの悪い人を見かけたことがありますか、それはどんな人ですか。
見かけたことが ある ない
- 学校に遅刻をしたことはありますか。(病気、通院などやむを得ない事情は除く)
ある ない
- 公共交通機関の遅延による遅刻は、本校では遅刻としてカウントされないことについて、どう考えていますか。

ここからは自転車通学の方のみお答えください。

- 自転車で怪我をしたことはありますか。また、どんなシチュエーションで怪我をしたか教えてください。
ある ない
- ヘルメットの着用が努力義務になったことを知っていますか。
はい いいえ
- ヘルメットを着用して登下校していますか。
はい いいえ
- 自分の自転車運転テクニックに自信はありますか。
はい いいえ

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。
美鈴が丘高校 新聞文芸部

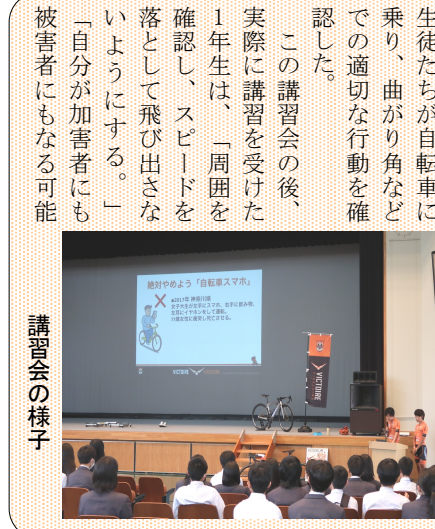
【資料】全校生徒を対象に実施したアンケート

一年生向け自転車講習会

6月5日、ロードレースチームのヴィクトワール広島による、自転車講習会が一年生の自転車通学者向けに行われた。前半は講堂で交通安全についてをクイズなどで学んだ。後半はグラウンドで、実際に生徒たちが自転車に乗り、曲がり角などでの適切な行動を確認した。

この講習会の後、実際に講習を受けた1年生は、「周囲を確認し、スピードを落とすようにする。」「自分が加害者にも被害者にもなる可能性がある」と語った。

この講習会は、毎年自転車通学を始めたばかりの1年生に向けて開かれる。自転車を運転する際の正しい知識を身につけたい。(三戸夏弥)



自分の身を守るために

我々新聞部は、これらの集計結果をもって、美鈴が丘高校の近くに美鈴が丘警察官駐在所に行き、そこで勤務されている井上巡査長にお話をうかがった。まず、自転車の速度の計測結果については、平均の87秒を時速に直すすと、時速約20キロ程度出ていることに対し、だいたい自動車での徐行運転と同じくらいであることがわかった。徐行とは、わかりやすく言えば「いつでも止まれる速さで走る」ということ。特に、美鈴が丘団地のような住宅街で、子供も多いような場所では、自動車でもなるべく徐行運転をし、いつでも止まれる速さであることが望まれる。それは自転車も同じで、

登下校時、美鈴が丘団地の中でも外でも、人通りの多いような場所では徐行運転を心がけたい。また、マナーの悪い運転の質間でも生徒から声が多くあがったように、近年増えている、スマートフォンやイヤホンをしての運転や、手放し運転、2人乗りなどの危険運転といった違反行為に対し、見かけた際にはどういった指導がされるのか伺ったところ、黄色の自転車警告カードを渡すなどして声をかけると教えていただいた。また、注意喚起の意味を込め、パトカーからマイクで注意などもするそうだ。もし、ながら運転などをしていることがあれば、その衝撃が頭に加われば

亡くなるリスクも高くなるだろう。ヘルメットで頭を守る重要性は非常に高い。特に美鈴が丘地区は高台で、どこにも坂があるため、下り坂ではかなりのスピードが出る。さらに団地には多くの交差点がある。バランスが崩れてこけたり、出合い頭に自動車と衝突した

りするリスクも高い。「ヘルメット着用」の努力義務化」の一番の目的は、運転者が自分の身を守るためである。また、家族や友人など、自分の大切な人たちが悲しまれることがないよう、ヘルメットを着用することを今一度よく考えて欲しい、と語った。(樫元萌奈)

自転車保険に加入してありますか？

ヘルメットと同じく、令和5年4月1日から広島県自転車条例で「義務化」されたのが、自転車保険への加入である。こちらは義務であるので、必ず加入しなければならないことになった。しかし、義務化するまえから、自転車購入時に保険に入る人も多く、自転車保険への加入はもはや当たり前になっている。

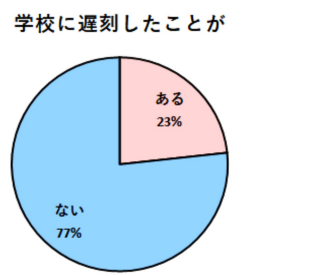
違反行為により交通事故を起こしてしまった場合、被害者が死亡したり、重篤な後遺障害を負うと、多額の損害賠償が発生する可能性がある。保険にはさまざまな種類があり、カバーできる内容も異なるため、身近な大人と相談し、よく考えて加入しなければならぬ。また、自転車通学をしていなくても、日頃自転車に乗る人は、自転車保険への加入を見当しよう。

事故を起こしやすなのは、やはり時間に余裕がないときである。時間に余裕がないと、気持ちも焦り、注意力も下がってしまう。美鈴が丘高校には、朝8時25分に教室の自分の席に着席し、30分から朝読書を開始するというルールがある。しかし、実際には25分ぎりぎり教室に入る人や、遅刻として扱われるのは30分からだから、25分を過ぎて学校に登校してくる人もいた。また、バスの本数が少ないことも原因かも知れないが、美鈴が丘高校前には30分後に着くバスに乗って登校して、余裕のない登校をしている生徒が多い。実際に、「学校に遅

余裕を持って登校を

刻をしたことがあるか」という質問には、回答した生徒は全体の23%と、単純計算すれば5人に一人は遅刻を経験していることになる。このように、時間ぎりぎり行動しては、登校中に焦って転んだり、自転車で転倒したりするリスクも高まるだろう。

公共交通機関を利用して通学している生徒は、バスなどの遅延があれば、登校が8時30分を過ぎていても遅刻としてカウントされないのだが、それについて生徒たちからは、「良いと思う」「仕方ない」といった肯定的な意見も多くある一方で、「雨の日などは一本早い便に乗るなど、余裕を持って登校する



保健室 高畑先生・中前先生のお話

登校中に怪我をした生徒がまず駆け込むのは保健室である。そこで、保健室の高畑先生と中前先生にお話を伺った。

天候が悪い日は怪我をする生徒が多いです。また、女子の方が男子よりも多い傾向にあります。1年生は、まだ自転車通学に慣れていないからか、4・5月

生活指導部の倉内先生は、毎朝校門付近で登校指導をしている。遅刻者の実態を調べるため、お話を伺った。

重要だと思いました。美鈴が丘高校を背負っているという自覚を持って、交通マナーを守って欲しいと思います。1人が交通マナーを守らなかつたら、美鈴が丘高校の印象が悪くなり、周りの方々の安全にも影響を及ぼす可能性があります。是非感想をお寄せください。

大きな怪我になることも

自転車の怪我は、何件くらいありますか？

美鈴が丘高校には、怪我にはどのよう

思いやり運転を心がけて

美・鈴・鈴・鈴

編集後記

今回の坂の上通信では、登下校時に気をつけていることや、自転車のスピードを調査した。そこで今回は、登下校時に潜む危険な場所について述べる。一番危険な場所は、周りが駐輪場や樹木の生い茂った公園などで、周囲から自分の姿がよく見えない場所などがあげられる。そういったところを通過して通学している生徒は、よく周囲を確認することはもちろん、反射板をつけるなどして、周りの存在をアピールする工夫も必要である。次に、自転車が放置してあったり、ゴミが放置されていたり、管理が行き届いてなく、人があま